

St. Luke's International University Repository

2008年度聖路加看護学会評議員会報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/3468

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



2008年度 聖路加看護学会 評議員会報告

- 日 時：平成20年9月26日（金）17:30～19:00
- 場 所：聖路加看護大学5階505・506共同研究室
- 出席者：評議員18名（うち理事7名）、理事3名、
監事2名、第14回学術大会長1名、委任
状：12名
- 司 会：田代順子
- 記 録：大久保暢子
配付資料：総会資料

1. 開会

開会にあたり、評議員18名の出席があり、評議員会は成立するとの報告があった。

2. 理事長挨拶

田代理事長より挨拶があった。

3. 報告事項

1) 選挙管理委員会

森選挙管理委員長の代理として大久保理事より、総会資料7に基づき選挙結果報告がなされた。

2) 第13回学術大会企画委員会

杉本大会長の代理として高木理事より、大会の準備状況について報告がなされた。

3) 学会誌編集委員会

木下理事より、資料3-1に基づき報告がなされた。

4) ニュースレター委員会

川口理事より、資料3-2に基づき報告がなされた。

5) 学術交流委員会

中村理事より、資料3-3に基づき報告がなされた。

6) 看護系学会等社会保険連合委員会

佐藤理事より、資料3-4に基づき報告がなされた。

7) 将来構想検討委員会

田代理事長より、資料3-5に基づき報告がなされた。

8) 庶務

庶務より、資料2に基づき報告がなされた。

9) 会計

田中理事より、資料4-1、2に基づき一般会計および特別会計報告がなされた。

10) 監査

近藤監事より、会則第10条の(3)に基づき、一般および特別会計報告について監査を行い、会計帳簿、預金通帳類を照合したところ、相違ないことが報告された。

11) 第13回学術大会企画委員会

杉本学術大会長の代理として、高木理事より、第13回学術大会について以下の報告がなされた。

8月20日現在で事前参加申し込み86名（内訳：会員66名、非会員16名、院生4名）、演題は口演

8題、示説11題、交流集会3題である。講演集は、例年余ること、印刷価格の高騰により、250部印刷に留めた（例年400部印刷）。

4. 協議事項

1) 次期評議員、理事、監事の承認について
選挙結果報告に基づき、次期評議員、理事、監事について承認がなされた。

2) 次期理事長の承認について

田代理事長より、次期理事長（山田雅子氏、聖路加看護大学 看護実践開発研究センター）の紹介がなされ、承認された。

3) 2008年度決算の承認について

賛成多数により2008年度会計報告は承認された。

4) 2009年度事業計画案の承認について

田代理事長より、総会資料5に基づき、2009年度事業計画案について説明がなされ、事業計画案は承認された。また評議員より、事業計画案の「会員相互の学術的交流」に関して、本理事会で具体的な案があるかの質問がなされた。田代理事長および中村理事より、「学術交流会のあり方の検討」も含めて、次期理事会の検討課題としたい旨が話された。

5) 2009年度予算案の承認について

田中理事より、総会資料6に基づき、2009年度予算案の説明がなされた。一般会計については、新事業の取り組みも視野に入れ、予備費を上乗せした旨が報告された。特別会計については、「Ⅱ. 支出の部」の予算額および決算額の年度に誤りがあり、「2008年」に修正することで承認された。

6) 第14回学術大会会長の承認について

堀内成子氏（聖路加看護大学）が次期大会長として承認された。

7) 第15回学術大会会長の推薦について

佐藤エキ子氏（聖路加国際病院）を推薦することが承認された。

8) 総会プログラムと進行表について

田代理事長より、資料Bに基づき、総会の進行予定が説明され、同意がなされた。

9) 2009年度学術大会日程について

第14回学術大会長より、9月26日（土）に聖路加看護大学において学術大会を行うことの説明がなされた。

10) 評議員に対する情報共有について

田代理事長より、評議員に対する情報共有について以下の説明があった。

本学会は、日本看護系学会協議会に加入していることから、協議会からの情報メールが多くある。理事にはそれを配信しているが、今後は、評議員にも配信し、情報を共有していく必要がある。

- 11) その他
評議員より、本学会への投稿論文が多く、学会誌を年2回発行していることは高く評価できる

との意見が出された。編集委員会の作業量については今後の要検討課題であり、予備費の使用も考慮していく旨が話された。

2008年度 聖路加看護学会 総会報告

- 日 時：2008年9月27日（土）12：20～13：00
- 場 所：聖路加看護大学 アリスC.セントジョン
メモリアルホール
- 議事録作成者：石本亜希子（聖路加看護大学 助教）、佐竹澄子（聖路加看護大学 助教）

1. 開会

会員数573名、出席者54名、委任状提出465名、計519名の出席数に対し、会則第20条により会員数の1/5以上の出席が確認できたため、総会は成立し、開会が宣言された。

2. 理事長挨拶

田代理事長より挨拶があった。

3. 議長の選出

会則第20条より、第13回大会長の杉本正子氏が議長として紹介された。

4. 報告

- 1) 2008年度理事会および評議員会報告
資料1に基づいて大久保理事より報告された。
- 2) 2007年度庶務報告
資料2に基づいて大久保理事より報告された。
- 3) 2008年度各委員会報告
 - (1) 聖路加看護学会誌編集委員会
資料3-1に基づいて木下理事より報告された。
 - (2) ニュースレター委員会
資料3-2に基づいて川口理事より報告された。
 - (3) 学術交流会委員会
資料3-3に基づいて中村理事より報告された。
 - (4) 看護系学会等社会保険連合委員会
資料3-4に基づいて佐藤理事より報告された。
 - (5) 将来構想検討委員会
資料3-5に基づいて田代理事長より報告された。

(6) 選挙管理委員会

資料7に基づいて森委員長より報告された。

5. 議事

- 1) 2008年度会計報告および会計監査報告
資料4-1, 4-2に基づいて大隅理事より報告された。
小松監事より監査結果が報告され、総会で承認された。
 - 2) 2009年度事業計画案の承認（資料5）
田代理事長より事業企画案が報告され、原案通り承認された。
 - 3) 2009年度予算案（資料6-1, 6-2）
大隅理事より予算案が報告され、原案通り承認された。
 - 4) 第14回学術大会会長の承認
聖路加看護大学 堀内成子氏が承認された。
 - 5) 第15回学術大会会長の推薦
聖路加国際病院 佐藤エキ子氏が推薦された。
 - 6) 次期評議員、理事、監事の承認
資料7に基づいて次期評議員、理事、監事が承認された。
 - 7) 次期理事長の承認
聖路加看護大学 看護実践開発研究センター
山田雅子氏が承認された。
6. 第14回学術大会会長の挨拶（堀内成子氏）
テーマは現時点では「ケアの未来を開く～ファーストクラスに学ぶ～」を考えている。また、プログラムの形式としては、講義や口演を多くし、英語での発表や交流セッションの場を設けることを検討している。
学会の開催は2009年9月26日（土）、開催地：聖路加看護大学の予定であると伝えられた。

7. 閉会